

新型コロナウイルス感染対策について

新型コロナウイルス感染対策委員

コロナウイルスとは

コロナウイルス

- コウモリ、ラクダなど主に動物に感染するウイルス
- 時に人にも感染

過去の報告例

- 2012年 中東呼吸器症候群（MERS）サウジアラビア
- 2002~2003年 重症急性呼吸器症候群（SARS）中国を中心に

新型コロナウイルス

- 具体的な感染源は不明
- 人から人へ感染
- 現在、有効なワクチンや特別な治療薬はない（対症療法のみ）

過去の報告例

- 2019年12月末原因不明の肺炎が報告される中国武漢市
複数の発症者が行った市内の生鮮市場で売られていた動物が関連する可能性

世界全体 死者 **20万人**

わずか5日で倍増

感染者 45万人以上

WHOが警告！

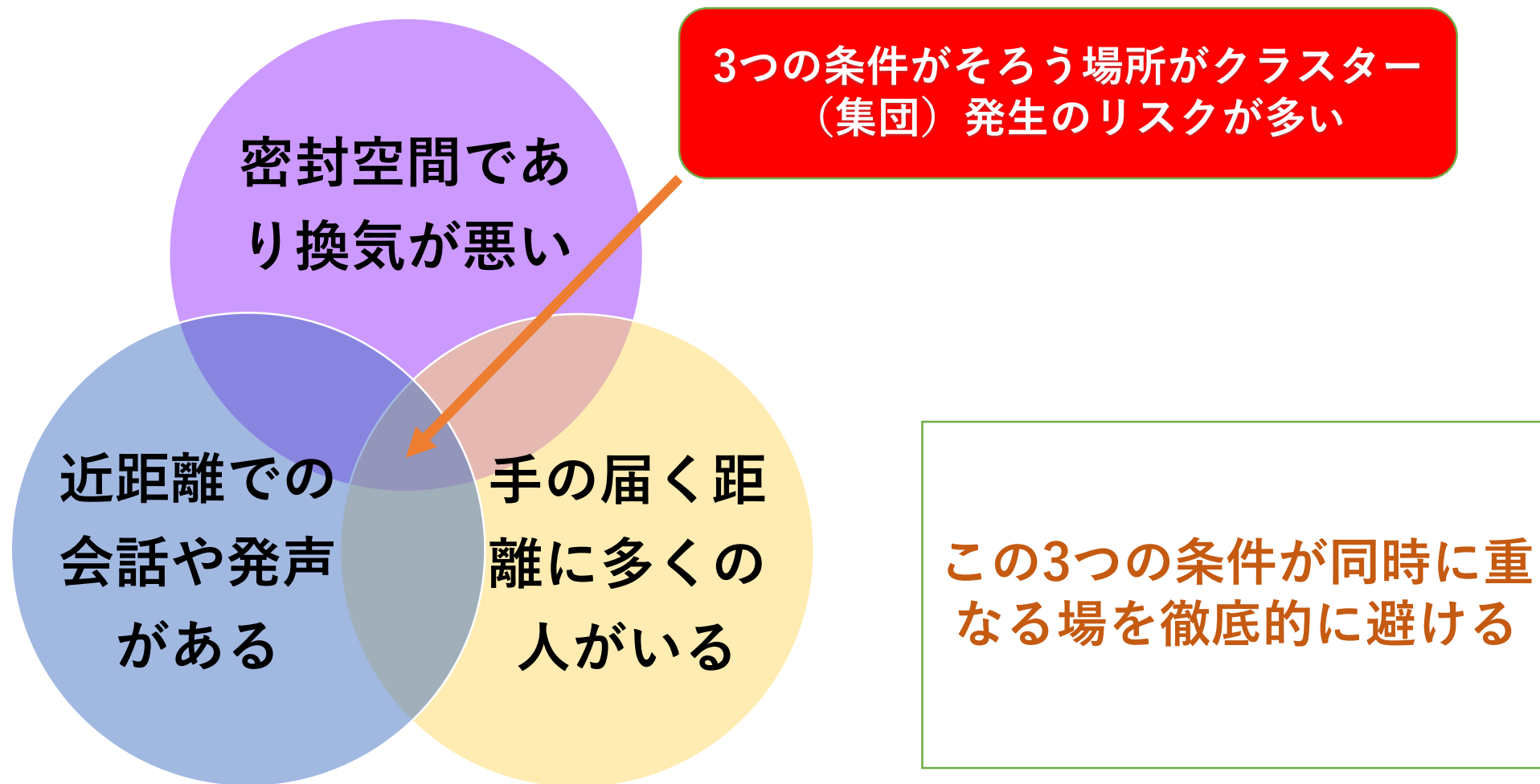
新型ウイルス、若者は
「無敵ではない」

青森県八戸市 **6人**

(スペイン旅行ツアー参加者および家族)
濃厚接触者 9人自宅待機

基礎疾患がない
10歳代20歳代の若年者の
死者も出てます

集団感染リスクへの対応



感染対策

対策 1

咳エチケットを守りましょう！

咳・くしゃみなどの症状がある時

- できる限り外出を控える
- **正しい方法でマスクを着用する**
(周りの人へうつさない)
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いする

咳やくしゃみをする時

- ハンカチやティッシュ等で口と鼻を覆う
- ハンカチ等がないときは、洋服の袖で口・鼻を覆う
- 他人から顔をそむけ、1メートル以上離れる
- 使用した紙はすぐにゴミ箱に捨てて手を洗う

マスクの使用について

マスクは全国的に品薄状態

→ 適材適所での使用は必要

- 感染の可能性がある場所
- 風邪症状とくに咳が出る

咳やくしゃみの飛沫やウイルスなどの
病原体が飛び散ることを防ぐ

感染症対策



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まるところでやろう



正しいマスクの着用



感染対策

対策 2 手洗いをしましょう！

流水と石けんで手を洗う

➡ 指輪や時計をはずし、指の間や手首まで丁寧に

アルコールで手指を消毒する

➡ キャンパス内では設置された手指消毒液を必要に応じて使用する

- 外出中、洗面台もアルコールもない場合
- 小さな子ども、手の不自由な高齢者

➡ アルコールを含んだウェットティッシュ
両手を丁寧に拭く

手洗いのタイミング

- 外出から戻った後
- 多くの人が触れる場所を触った時
- 咳・くしゃみ、鼻をかんだ後
- 症状のある人の看病、お世話をした後
- 料理を作る前
- 食事の前
- 家族や動物の排泄物を取り扱った後
- 自分がトイレを利用した後

手洗い、うがいは感染防止に大きく役立ちます

正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



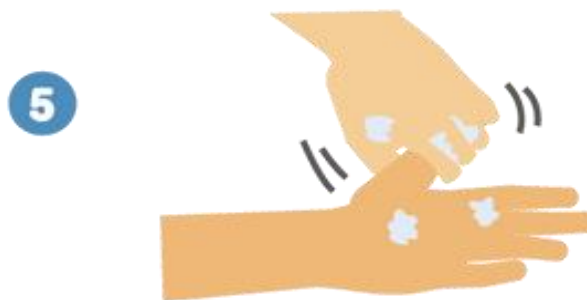
手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

感染対策

対策 3

環境消毒・換気

環境消毒

手のよく触れる場所（部屋のドアノブ・テーブル、てすり、スイッチ・リモコン・洗面台・トイレのレバー等）

- 1日1～2回
- 薄めた漂白剤（0.05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液）またはアルコールを含んだティッシュで拭く
- ※漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）で拭いた場所がさびるおそれがあるため消毒後は水拭き

空間

部屋の十分な換気で空気を新鮮に保つ（日中は1～2時間ごと5～10分間窓や扉を開ける）

換気

症状がある家族および同居の人がいる場

- できる限り部屋を分ける
- 症状がある家族の部屋は 窓のある換気ができる部屋にする
- 石鹸と流水でよく手を洗う
- 1～2メートル以内で接するときは、どちらもマスクをする

感染対策

その他の対策

■ 換気が悪く、人が密に集まって過ごす空間に集団で集まることを避ける

(例)

- ライブハウス
- カラオケ
- スポーツジム
- 屋形船

- ビュッフェスタイルの会食
- スキーのゲストハウス
- 密閉された仮設テント

■ 規則正しい健康的な生活を心がけ抵抗力・免疫力を維持する

感染対策

その他の対策

- 今回の報道内容を身近なこととして認識すること。
- 今後2週間は、夜の会合はもとより、不要不急の外出を極力控えること。
- 学外での生活は、十分に留意すること。
- アルバイトは、原則として、極力控えること。

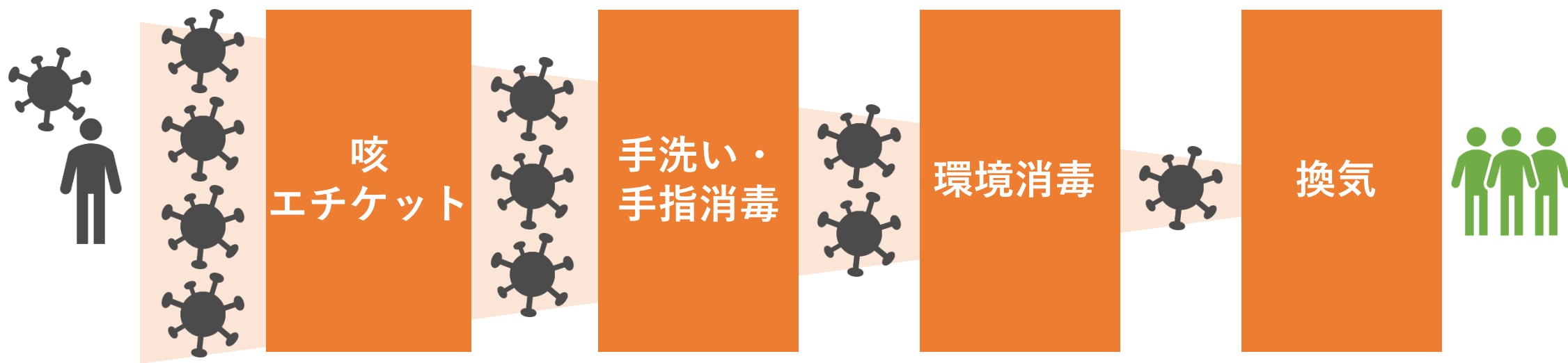
新型コロナウイルス感染症を含む指定感染症に

罹患し治癒していない場合は、出席することができません

※新型コロナウイルス感染症は「学校保健安全法」第一種感染症

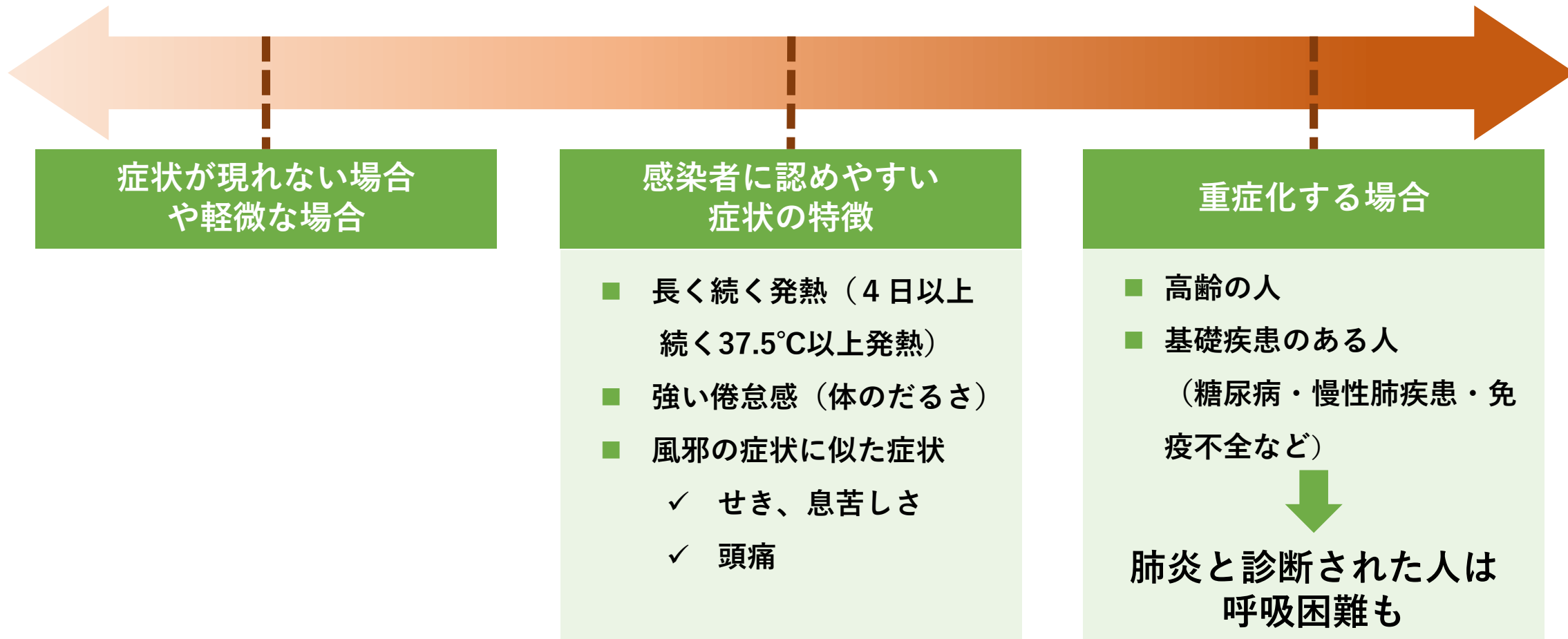
感染伝播予防

- 家庭でできる感染対策の基本は正しいマスクの使用、こまめな手洗い
- 症状があるときは外出を控える



「できるだけ感染のリスクを下げていく」 ために一つ一つの対策を確実に

感染症の症状



想定される潜伏期間 2～12.5日

症状があるときに気を付けること

発熱・咳などの症状がある／続く

- できる限り外出は控える
- 人前に出る時や外出する時は、マスクを着用し人の多いところは避ける
- 毎日2回（朝、夕）体温を測って記録する

体温が37.5度以上

激しい咳

息苦しい等の症状

看護学科(特に3年生)

体温が37.0度以上

全身症状（倦怠感・悪寒・関節痛）

呼吸症状(咳嗽・咳・鼻汁)

消化器症状（下痢・吐気・嘔吐）

結膜炎症状

いずれかに該当する方

電話相談窓口

- 医療機関受診の前にまず「**帰国者・接触者相談センター**」に電話相談
- 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診する
- ※ 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット徹底

帰国者・接触者相談センター (保健予防課)	電話番号	受付時間
	0178-43-2291	平日 8時15分～17時
	0178-43-2111	休日・夜間

罹患した場合の対応

- 医師の指示に従い、完治するまで安静にする
- 本人または代理人により学校へ電話連絡する



連絡先電話番号

0178-25-2711



連絡内容

✓状況 ✓受診医療機関 ✓受診日 等

- 完治するまでは出席停止とし、治療に専念する